

放射性廃棄物処理・処分 スケジュール

●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内）
～可燃物を減容する増設雑固体廃棄物焼却設備や、不燃物（金属・コンクリート）を減容するための減容処理設備等を設置し、処理を開始
～屋外一時保管されている廃棄物の焼却・減容処理を進め、固体廃棄物貯蔵庫で保管
～固体廃棄物の発生量予測が変動し、保管施設が不足する場合は、構内の敷地を確保した上で保管施設を増設

●水処理二次廃棄物（石膏塔類）については、大型廃棄物保管庫内に移動する。
～多核種除去設備で処理した際に発生する水処理二次廃棄物であるスラリーには多くの水分が含まれているため、脱水安定化処理を実施する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月30日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月18日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。なお、二次燃焼器バーナ軽油ポンプユニットB戻り配管フランジ下部に油漏れ跡が確認されたため、当該箇所についても点検修理する。

●2020年11月：焼却炉本体の乾燥焚乾燥後の設備確認時において、ロータリーキルン駆動部に想定より多い摩擦が確認されたことを受けて下記の通り、工程を見直す。
●2021年4月～9月：見直し後のシール構造の設備設計及び製作
●2021年6月～12月：現地工事（既設設備撤去、新規設備取付）
●2021年12月～2022年3月：系統試験、コールド及びホット試験
●2022年3月：設備竣工、運用開始

●鉄骨工事（外部足場、鉄骨建方等）
2020年11月12日～
●屋根工事（デッキプレート敷完了、コンクリート打設等）
2020年12月2日～
●外壁工事（外壁取付）
2021年1月27日～
●2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、クレーン耐震構造設計見直しの予定。竣工時期については、設計・製作工程等の見直し期間を確認した上で、変更予定。

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内）
～可燃物を減容する増設雑固体廃棄物焼却設備や、不燃物（金属・コンクリート）を減容するための減容処理設備等を設置し、処理を開始
～屋外一時保管されている廃棄物の焼却・減容処理を進め、固体廃棄物貯蔵庫で保管
～固体廃棄物の発生量予測が変動し、保管施設が不足する場合は、構内の敷地を確保した上で保管施設を増設

●水処理二次廃棄物（石膏塔類）については、大型廃棄物保管庫内に移動する。
～多核種除去設備で処理した際に発生する水処理二次廃棄物であるスラリーには多くの水分が含まれているため、脱水安定化処理を実施する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月30日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月18日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。なお、二次燃焼器バーナ軽油ポンプユニットB戻り配管フランジ下部に油漏れ跡が確認されたため、当該箇所についても点検修理する。

●2020年11月：焼却炉本体の乾燥焚乾燥後の設備確認時において、ロータリーキルン駆動部に想定より多い摩擦が確認されたことを受けて下記の通り、工程を見直す。
●2021年4月～9月：見直し後のシール構造の設備設計及び製作
●2021年6月～12月：現地工事（既設設備撤去、新規設備取付）
●2021年12月～2022年3月：系統試験、コールド及びホット試験
●2022年3月：設備竣工、運用開始

●鉄骨工事（外部足場、鉄骨建方等）
2020年11月12日～
●屋根工事（デッキプレート敷完了、コンクリート打設等）
2020年12月2日～
●外壁工事（外壁取付）
2021年1月27日～
●2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、クレーン耐震構造設計見直しの予定。竣工時期については、設計・製作工程等の見直し期間を確認した上で、変更予定。

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

●ガレキ等の屋外一時保管解消（2028年度内）
～可燃物を減容する増設雑固体廃棄物焼却設備や、不燃物（金属・コンクリート）を減容するための減容処理設備等を設置し、処理を開始
～屋外一時保管されている廃棄物の焼却・減容処理を進め、固体廃棄物貯蔵庫で保管
～固体廃棄物の発生量予測が変動し、保管施設が不足する場合は、構内の敷地を確保した上で保管施設を増設

●水処理二次廃棄物（石膏塔類）については、大型廃棄物保管庫内に移動する。
～多核種除去設備で処理した際に発生する水処理二次廃棄物であるスラリーには多くの水分が含まれているため、脱水安定化処理を実施する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月30日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。

●設備点検のため、処理運転停止
2021年1月18日～
●自動倉庫のバレットに地震が起因と思われるスレが確認されたため、スレの修正後、処理運転を再開する。なお、二次燃焼器バーナ軽油ポンプユニットB戻り配管フランジ下部に油漏れ跡が確認されたため、当該箇所についても点検修理する。

●2020年11月：焼却炉本体の乾燥焚乾燥後の設備確認時において、ロータリーキルン駆動部に想定より多い摩擦が確認されたことを受けて下記の通り、工程を見直す。
●2021年4月～9月：見直し後のシール構造の設備設計及び製作
●2021年6月～12月：現地工事（既設設備撤去、新規設備取付）
●2021年12月～2022年3月：系統試験、コールド及びホット試験
●2022年3月：設備竣工、運用開始

●鉄骨工事（外部足場、鉄骨建方等）
2020年11月12日～
●屋根工事（デッキプレート敷完了、コンクリート打設等）
2020年12月2日～
●外壁工事（外壁取付）
2021年1月27日～
●2/13の地震に関する影響評価を踏まえ、クレーン耐震構造設計見直しの予定。竣工時期については、設計・製作工程等の見直し期間を確認した上で、変更予定。

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

●安定化処理設備の設計検討
（予定）
●安定化処理設備の設計検討
●建屋現地工事

作業内容	これまで1ヶ月の動きと今後6ヶ月の予定		3月			4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月以降			備 考		
	14	21	28	4	11	18	25	1	8	15	22	29	5	12	19	26	2	9	16	23	30								
●その他廃棄物対策関連作業 -今後の廃炉作業の進捗状況等を踏まえつつ、現在整備を進めている放射性物質分析・研究施設を活用し、固体廃棄物の処理・処分等の検討に必要な性状把握を進めていく。	3. 固体廃棄物の性状把握	(実 績 / 予 定) ・【研究開発】固体廃棄物のサンプリング・保管管理 ・【研究開発】廃棄物試料の分析（現場：JAEA東海等）	機 器 ・ 設 計	サンプリング計画検討																					・多核種除去設備の運転状況に応じて順次試料を採取 ・瓦礫：富士瓦礫、1号機周辺瓦礫、3号機原子炉建屋内瓦礫類のデータを取り纏め中。 ・汚染水：建屋滞留水を分析中。 ・水処理二次廃棄物：ALPS吸着材等を分析中。濃縮廃液スラリー、土壌セオライト等の分析データをデータベースに収録。 ・これまでの分析結果は以下のウェブページにまとめられているリスト： https://clads.jaea.go.jp/jo/rd/tech-info.html 検索： https://frandl-db.jaea.go.jp/FRANDL/				
				分析計画検討																							(2022年3月完了予定)		
				分析データ取りまとめ																								(2022年1月完了予定)	
			現 場 作 業 ・ 処 理																										
処 理 ・ 処 分 計 画																													
●分析施設 -今後の廃炉作業の進捗に応じて必要となる分析機能を有する施設を設置	4. 研究施設の設置	(実 績 / 予 定) ・建屋現地工事 連絡通路等工事（連絡通路内装工事、建屋内仕上り工事等） 主要内装設備等工事 ・送排風機風量不足対応	現 場 作 業 ・ 設 置	建屋現地工事																					(検討継続)				
				送排風機風量不足対応																						(検討継続)			
			機 器 ・ 設 計	設計検討																							(2022年1月完了予定)		
機 器 ・ 設 計	総合分析施設(予定)	(予 定)																								・概念検討に向けた準備段階（計画が決まり次第反映予定）			